

10²⁰¹⁷ / 19 THU

18:00開演(17:30開場)

参加費
無料

使用言語:日本語



Alexandra Munroe at Guggenheim Museum, 2016. Photo © David Heald

講演者

アレクサンドラ・モンロー

(ソロモン・R・グッゲンハイム美術館
アジア美術上級キュレーター/
グローバル美術上級アドバイザー)

アメリカにおける戦後・ 現代日本美術史の展開と グローバル美術史の興隆

国際交流基金では、1973年以来毎年、学術、芸術などの文化活動を通じて、日本と海外の相互理解の促進に長年にわたり顕著な貢献のあった個人または団体に対し、「国際交流基金賞」を授賞しています。2017年度の受賞者の一人として、世界のアートシーンの最前線で活躍するキュレーターであり、研究者、作家のアレクサンドラ・モンロー氏選ばれました。この度、モンロー氏の国際交流基金賞受賞、そして東京藝術大学130周年を記念して、本講演会を開催いたします。

「戦後日本の前衛美術:空へ叫び」展(1994)、「草間彌生」回顧展(1989)、「森山大道:Stray Dog」展(1999)、「Yes オノ・ヨーコ」展(2000)など、戦後から現代までの日本美術をテーマに数々の展覧会を企画してきたモンロー氏。若い世代の日本の現代美術家たちの国際的な評価を高めることに貢献したモンロー氏の視点から、アメリカにおける戦後・現代日本美術史の展開、そしてグローバル美術史の興隆についてお話しいたします。またとない貴重な機会、ぜひご参加下さい。

profile

米国生まれ。ニューヨーク大学で日本の戦後美術と政治を対象とした研究論文で博士号を取得。アジア美術を専門とする研究者、著述家であると同時に、この世代の最も重要なキュレーターの一人として国際的に認知されている。第二次世界大戦後の日本美術を総体的に検証した「戦後日本の前衛美術:空へ叫び」展(1994-1995)はアメリカを巡回し高く評価された。2009年にグッゲンハイム美術館で開催した「第三の心:アメリカ人アーティストが見つめたアジア、1860-1989」展では、アメリカのモダニズムの発展に対する日本をはじめとするアジアの影響を考察し、全米人文科学基金から第一回長官特別賞を受賞。

Alexandra Munroe

*講演会終了後に、講師との交流会を予定しています。軽食付、無料

申し込み期限 10/11(水)

以下のウェブサイトよりお申込みください。
<http://www.jpfa.gov.jp/j/about/award/index.html>

会場/東京藝術大学 美術学部 第1講義室(美術学部中央棟1階)

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

主催/ 独立行政法人国際交流基金、東京藝術大学

事務局情報 国際交流基金賞事務局(株式会社ステージ内)

TEL 03-3554-5163 FAX 03-5966-5773 Mail jf-award2017@stage.ac



東京藝術大学
130周年
1876-2006



JAPAN FOUNDATION